

創刊号

全員家族

栃木県佐野市犬伏上町二七九八番地

(社会福祉法人)三松会

救護施設 フルーツガーデン

TEL 0283-869515

FAX 0283-869516

いあごわり



理事長 塚田 一晃

「最後のセーフティネット」と呼ばれ、経済的な事情や障がいなどを理由に、自立した生活が困難な人たちが暮らす「救護施設」が県内二ヶ所目「フルーツガーデン」として六十一年ぶりに開設いたしました。

健康で安心して生活していただくために、入所者、社会のニーズに的確に対応し、入所者一人ひとりが生き甲斐を失うことなく、安心して楽しい生活が送れるよう「全員家族」を職員のモットーにして地域の皆様とともに、より良い施設をつくっていききたいと願っています。何卒、よろしくお願ひします。



フルーツガーデンとは？

目的

この施設は、生活保護法第38条第2項の規定に基づく救護施設で身体上又は精神上著しい障がいがあるために、独立して生活することが難しい方に、生活援助を行う施設です。

基本理念

① 個人の尊厳を守り利用者の意向を十分に尊重し、生きることへの感謝をもっていただけるよう、慈悲のところで支援します。

② 地域における福祉の拠点を目指します。

基本方針

① 利用者の基本的な人権を保障し主体性を尊重した自己実現の支援を図っていきます。

② 多様な障がいや課題を持つ利用者 の問題を受け止めて、個々のニーズ

に応じたサービスを提供するとともに、個人情報の保護に努めます。



▲ 施設の全景



▲ 部屋名札

当施設の居室には、「フルーツガーデン」の施設名に因んで、「アンス」、「イチゴ」のように果物の名前が付けられています。



▲ 居室(4部屋)



▲ 居室(2部屋)

お地蔵さんのロケション

■当施設では、仏教の精神に触れ、安らかな毎日に感謝できるように、毎月24日を「お地蔵さんの日」として法要を行います。この「お地蔵さんの日」は、地域交流の一環として入所者だけではなく、地域の皆様も自由に参加していただけたらと思いますので、参加をお待ちしております。



▲ 法要の様子



▲ 導師様による法話

■第一回目の「お地蔵さんの日」を1月24日(水)に実施しました。ご導師様には、当施設の塚田一晃理事長(昌福寺副住職)をお迎えし、般若心経、舍利禮文等の読経を皆で唱えました。

また、法話の中では、「いただきます、ご馳走様」を言って、食事を作る人や食事を届ける人などたくさんの方に支えられていることに感謝の気持ちを持つこと

や、我々は「生きている」のではなく「生かされている」ことに感謝の気持ちをもつて日々の生活してほしいことをお話されました。

次回 2月24日(土) 午後3時
 導師 赤見本願寺副住職 長澤竜也師
 ※法要後、法話・茶話会を行います。

ボランティア

1月21日(日)にフルーツガーデンの北側道路のゴミ拾いを入所者と職員で実施しました。

空き缶やペットボトルなどのゴミを拾い、地域の美化活動にご協力できるように、今後定期的にも実施していきたいと思っております。



▲ ゴミ拾いの様子

落成式典

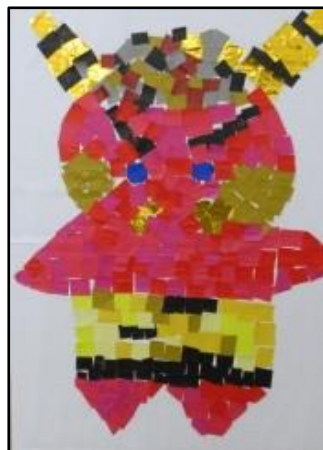
去る平成29年12月21日(木)に救護施設フルーツガーデンの落成式典が行われました。救護施設の新設は県内61年ぶ

りで、宇都宮市内の一施設に次いで二カ所目です。

式典は、僧侶10名による法要で始まり、塚田一晃理事長のあいさつ、来賓として栃木県保健福祉部長 山本圭子様、佐野市長 岡部正英様ほか多くの皆様のご臨席をいただきました。

2月の行事予定

- 2日 節分
- 14日 バレンタインデー
- 24日 お地蔵さんの日



▲入所者が作成したちぎり絵「赤鬼」

編集後記

フルーツガーデンだより創刊号は、いかがでしたか? 広報紙のタイトル「全員家族」とは、入所者全員が家族と思っ生活できるような施設にしたいとの願いから名付けました。

